

経営比較分析表（令和6年度決算）

香川県 さぬき市

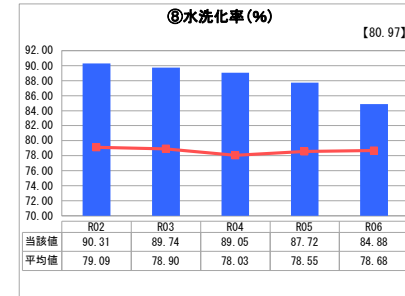
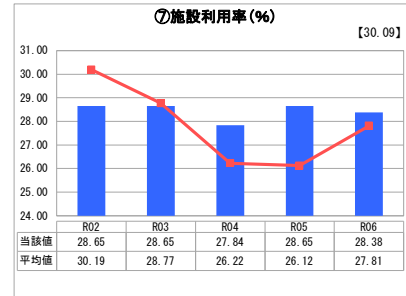
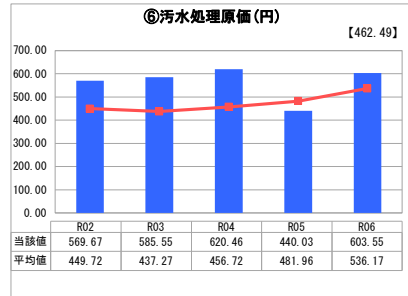
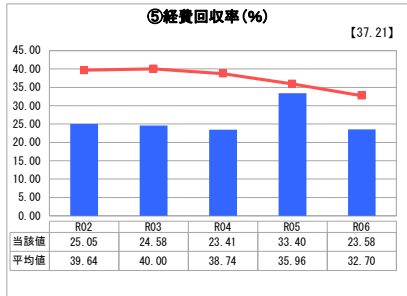
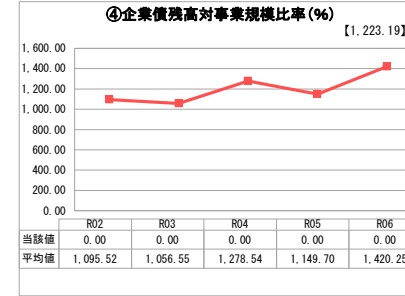
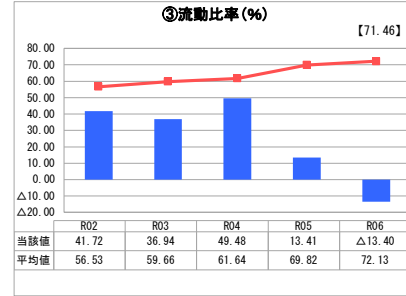
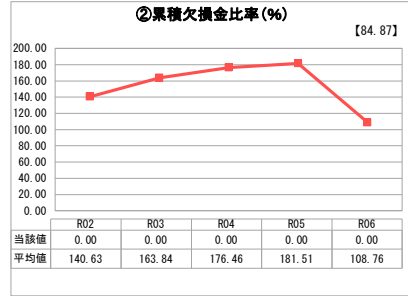
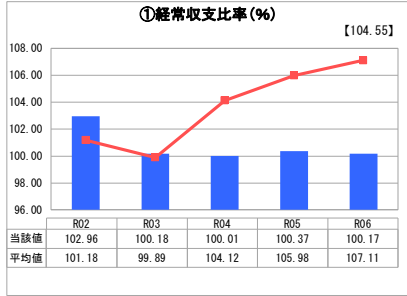
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	79.37	1.40	99.25	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
44,348	158.62	279.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
615	1.98	310.61

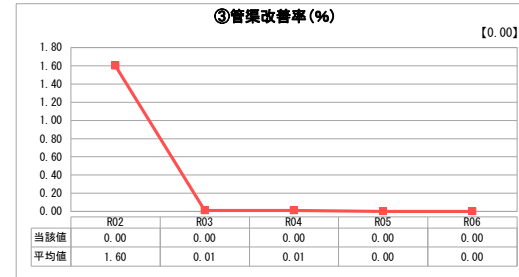
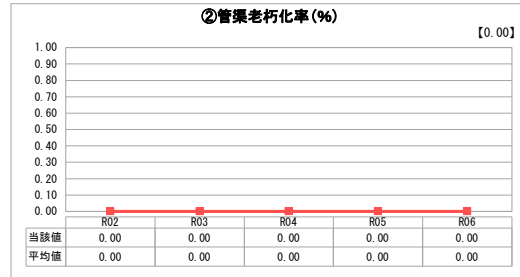
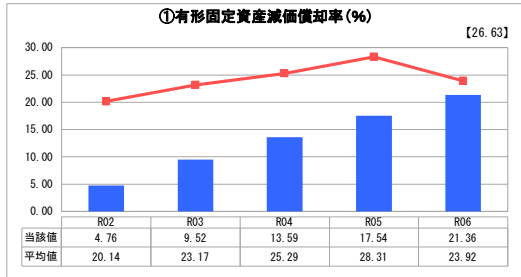
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、100%を上回っているものの、一般会計からの繰入金に依存している状況である。
 ②流動比率については、建設改良費に充てられた企業債がほぼ返済完了であり、流動資産のほとんどが一般会計からの繰入金であることが要因である。
 ③流動比率については、建設改良費に充てられた企業債がほぼ返済完了であり、流動資産のほとんどが一般会計からの繰入金であることが要因である。
 ④企業債残高対事業規模比率については、明確な数値基準がない指標であるが、一般的に値が低い方が望ましいとされている。本市においては、企業債元金の償還を一般会計からの繰入金で賄っていることが低い数値の要因である。
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、本来使用料で回収すべき経費を賄っておらず、一般会計からの繰入金で補填している状況であることから、引き続き経費節減と使用料の確保に努めていく。
 ⑦施設利用率については、類似団体平均値と比較して、概ね平均値となっているが、今後の人口減少に伴い、遊休状態は更に進行することが予想される中、施設の統廃合等を計画する必要がある。
 ⑧水洗化率については、類似団体平均値と比較して、若干、上回っているものの、過疎地域の施設であるため、後は、減少していくことが予想される。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、令和2年度に法適用企業へ移行した際に、それまでの減価償却累計額相当分を控除した数値としたため、類似団体平均と比べ、大幅に下回っているが、実際には、老朽化が進行している施設・設備も多いことから、引き続き、改築更新事業を実施していく。

全体総括

本市における経営状況は、人口減少に伴う収入減や老朽化に伴う経費の増加など、決して安定しているとは言えず、過疎地域の施設であることから、大幅に改善することは極めて難しい状況であるが、施設の統廃合を検討するなど、更なる経費削減に努めていくことにより、持続可能な下水道経営を目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。